

広報

ふじ

60.7.5

No. 414



夏休みは手づくりおやつで...

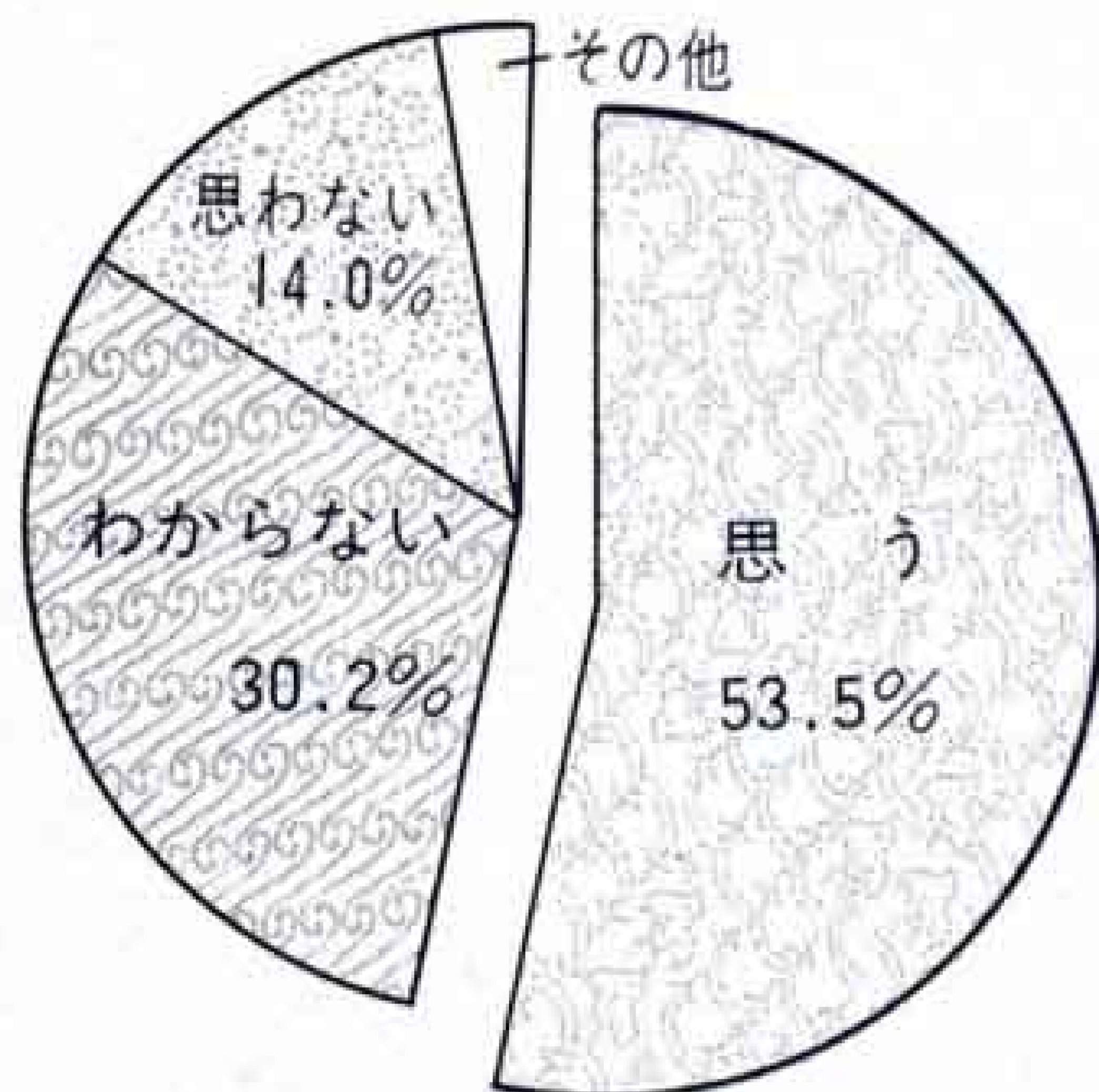
——大淵幼稚園家庭教育学級——

大淵幼稚園園児のお母さん方による「楽しいおやつづくり」講習会が、6月25日大淵公民館で行われました。参加したお母さん方は、この夏休みには、子供たちに特製の手づくりおやつを食べてもらおうと、張り切ってつくっていました。

ボランティアセンター☎52-6200 ボランティアセンター☎52-6200 ボランティアセンター☎52-6200 ボランティア

問. ボランティア活動をしてみたいと思うか

だれにでも



(昭和56年 第9回世論調査結果より)

「関心はあるが、やり方がわからない」というのがボランティア活動に対する多くの人の意識ではないでしょうか。今回は、主婦の山田仁美ひとみさんにボランティアセンターをレポートしていただきました。

「ボランティアセンターとは、どんな所ですか」

—ボランティアセンターって名前は聞いたことがありますが、初めておじゃましました。どんなことをしているんでしょうか—

この施設は、市の社会福祉協議会の出先機関として、昭和55年にオープンしました。以前は、奉仕銀行とか善意銀行と呼んでいたものです。核家族化や長寿化が進む中で、ボランティア活動も脚光を浴びてきてい

ます。

ボランティアを受けたい人、したい人のパイプ役というのが主な仕事でしょうか。

—私はボランティアに興味を持っているんですが、実際にどんなことをしていいかわからないし、やっている知り合いもいません—

留守番ボランティアやおむつづくり、清掃奉仕もボランティアです。家でもできるし、負担になることなんかありません。

—切手を集めるだけでも、ぞうき

んを縫うだけでもできるんですね—

暇がないから、金がないからできないという人もいますが、仕事の種類は数限りなくあるので、その中で自分にできることを選べばいいと思います。1年に1回でもいいんですよ。

「登録はどうするんですか」

—ボランティアって広いんですね。ところで、登録の方法は?—

ここに、ボランティア受付用紙が



◀ ボランティアセンターでボランティア連絡協議会のみなさんにインタビュー

写真左から 藤沢貞代さん (福祉を語る婦人の集い)
左から2番目 稲葉正子さん (富士福祉会)

まん中 菅谷英司さん (ボランティアコーディネーター)
向かって右 川島千津子さん (小規模授産所つくし作業所)

ター☎52-6200 ボランティアセンター☎52-6200 ボランティアセンター☎52-6200 ボランティアセンター☎52-6200

できるボランティア

あります。何を、いつできるかを書いてください。現在、登録者は29団体3,500人います。県下では、87%が女性ですが、富士市では企業ボランティアがあって、男性も多いですよ。「福祉まつり」などの行事のたびにふえています。

ない不器用な私にも、できることがたくさんあるようです——



▲アイマスクの体験



レポーター 山田仁美さん(26歳)
主婦 中里新富町

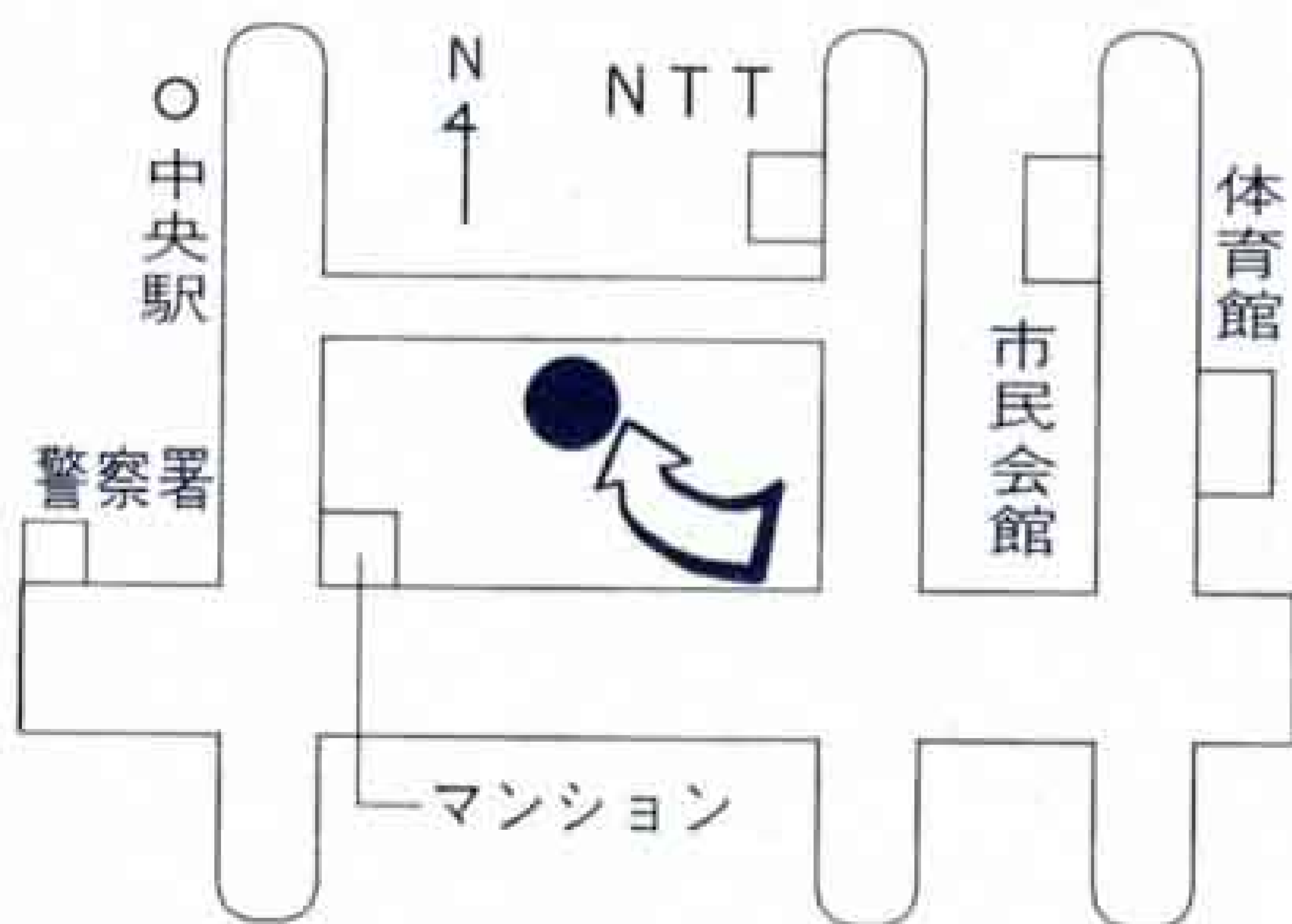
● 自分のために

「私はボランティア活動をしたいので勉強したい」とか「研修をしたい」という人もいますが、そんなに難しいものではないですよ。だれでも、いつでも、どこでも、一人でも、簡単なことでもできます。

年寄りばかりでなく、人間ならどこかで人の世話を受けていると思うし、ボランティアをやる人も、結局、自分のためにやっているのではないのでしょうか。知り合いができてくるし、社会が楽しくなると思いますよ。

● 私にもできそう

——来る前は、ボランティアを何かすごく大変なことのようには考えていましたが、こんなに簡単に、回りにたくさんできることがあると知って、とても身近に感じました。何もでき



「ボランティアセンター」はここです。お気軽にお立ち寄りくださいネ!

ボランティア紹介

お母さん本よんで～

—ひろみ親子読書会—

お母さんやおばあさんに添い寝をしてもらいながら聞いた昔話や童話は、だれでもよく覚えています。ところが今はどうでしょうか。テレビに子守りをしてもらう親がふえているのではないのでしょうか。

そんな中で、子供たちによい本との出会いの場を作り、子供の心を育てようとしているのが、「ひろみ親子読書会」です。「ひろみ親子読書会」は日曜を除く毎日13時から16時まで、広見公民館に隣接する

コミュニティセンターで、子供文庫を開設していて、指導員27人はすべてボランティアです。子供たちが1日40人～50人訪れ、本の貸し出しや読み聞かせを行っています。ボランティアの皆さんは、公民館の婦人セミナーを受講したのがきっかけで、昭和55年5月15日から活動しています。

代表者 宮崎久子さん ☎21-3444 (広見コミュニティセンター)



▲本を読んでもらう子供たち

1、富士山のように 美しく 自然を愛し きれいな環境をつくります

大人の油断が事故を呼ぶ

夏になると昼間は水泳、夜は花火を楽しむ子供が多くなります。

どちらも夏とは切っても切れない縁のあるものです。

水の事故

「泳ぎに行ってくるよ」「車に気をつけるんだよ」夏の昼間の会話です。でもちょっとまってください。夏に限ると、交通事故より水の事故死のほうが多いのです。ですから、もう一言「遊泳禁止の場所では絶対泳がないんだよ」とつけ加えてください。

子供たちを水の犠牲者にしないために保護者や大人は次のような点に十分注意してください。

- ◆子供たちだけで水泳や水遊びに行かせない。行くときは保護者や大人が必ず同伴する。
- ◆危険な水辺で遊んでいる子供を見かけたら、声をかけ安全な場所で遊ばせるようにする。
- ◆雨降りの後などで川や用水路が増水しているときは、子供たちを近づけないよう注意する。

子供たちに夏を楽しく安全に過ごさせるために、保護者や大人はどうすればよいかを考えてみましょう。

花火の事故

夏の夜、庭先での花火は蒸し暑さを一瞬忘れさせてくれるものです。

しかし、家庭で手軽に扱っている花火も原料は「火薬」。ちょっと間違った扱い方をすれば、やけどや火事など思わぬ事故を起こします。

花火で遊ぶときは必ず次のことに注意しましょう。

- ◆空を飛んだり、火花が吹き出す花火で遊ぶときは広い場所を選んでしましょう。
- ◆子供だけで花火をしていると万一の時適切な措置がとれません。花火をするときは必ず大人が付き添いましょう。
- ◆花火に火をつける前には必ず説明書を読みましょう。
- ◆花火の燃えがらを確実に消すには水が一番です。水を入れたバケツを用意しましょう。

常任・特別委員会 正副委員長決まる

富士市議会6月定例会で、議案審議後、常任委員の選任が行われました。

その結果、常任委員会、特別委員会の正副委員長が次のように決まりました。

常任委員会、特別委員会、正副委員長

- ◎委員長 ○副委員長
総務企画委員会
- ◎羽田虎雄 ○服部 弘
文教民生委員会
- ◎勝亦久次 ○藤田章吾
環境経済委員会
- ◎加藤秀治 ○小杉竹次
建設水道委員会
- ◎菊池正英 ○田中吉正
新幹線富士駅設置対策特別委員会
- ◎菊池継男 ○金森 勲
議会運営委員会
- ◎植田祥之 ○関 勝雄

5年ごと数字で見直す国やまち

10月1日(火)

国勢調査にご協力を



10月1日、全国いっせいに国勢調査が行われます。

国勢調査は、大正9年から5年ごとに実施され、今回で14回目となります。

調査の結果は、福祉、雇用、住宅、環境整備など、私たちの暮らしに密着したさまざまな問題について、国や都道府県、市町村が行う行・財政施策の重要な資料として利用されます。

9月下旬から10月上旬にかけて、調査員がお宅にお伺いしますので、よろしくご協力をお願いします。

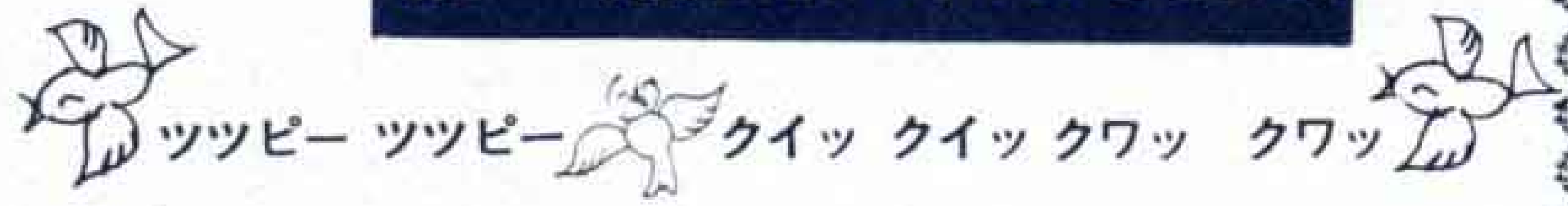


1、富士山のように 高く 教養を深め 視野のひろい市民となります



育てよら豊が自然

7/21~8/20 自然に親しむ運動



鳥のさえずりに耳を傾けることありますか！
忙しさの中で新緑の輝きを忘れてませんか！

7月21日から8月20日まで全国一斉に“自然に親しむ運動”が行われます。

この運動は、私たち一人一人が自然に親しむことを通じ、自然に対する科学的興味と理解、さらに保護の精神を養うことを目的とするもので、全国各地で自然公園大会や自然観察会、オリエンテーリングなどの各種野外活動が開かれます。

私たちのまち富士市は、日本一の富士山を抱え、この富士山から限りない自然の恵みを受けています。丸火自然公園、富士川河口、浮島ヶ原、須津川溪谷、岩本山などちょっと見回せばすばらしい自然がふんだんに展開しています。

あなたもこの機会に自然に触れ、自然に親しみ私たち人間と自然のかかわりについてもう一度見つめ直してみませんか。自然は私たち人間生活に欠かすことのできない大切なものです。自然と触れ合うことにより自然を愛する気持ちを育てましょう。

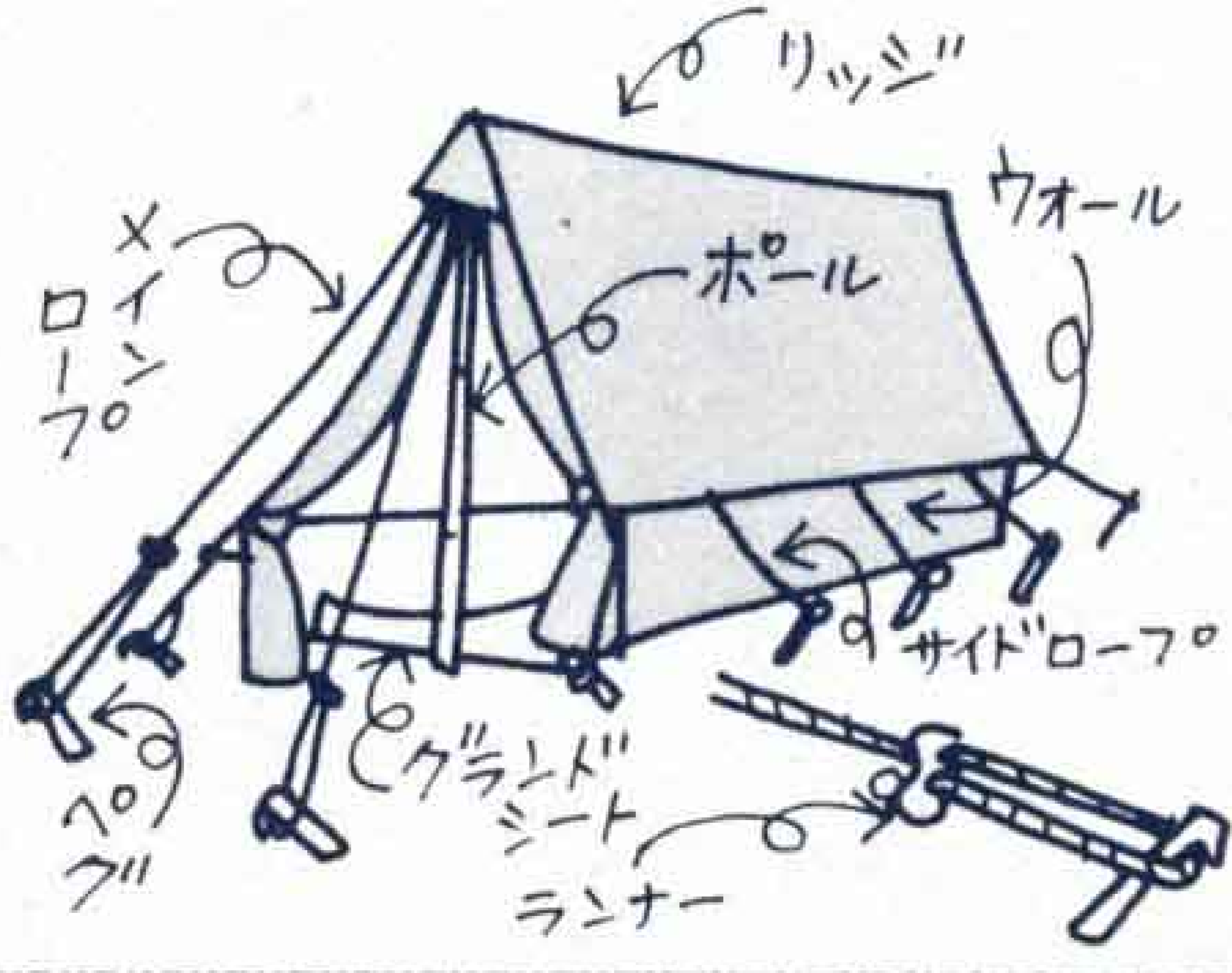
市は運動期間中の8月18日(日)、丸火自然公園で自然観察会を開きます。あなたも参加してみませんか。詳しくは市みどりの課へ ☎51-0123内線333

自然豊かな心



この夏 家族で自然に親しもう

楽しいキャンプ生活



キャンプは自然と触れ合うには最適です。キャンプをするにはまずテント張り。この夏、大人に頼らず自分でテント張りに挑戦してみよう。

テントの張り方

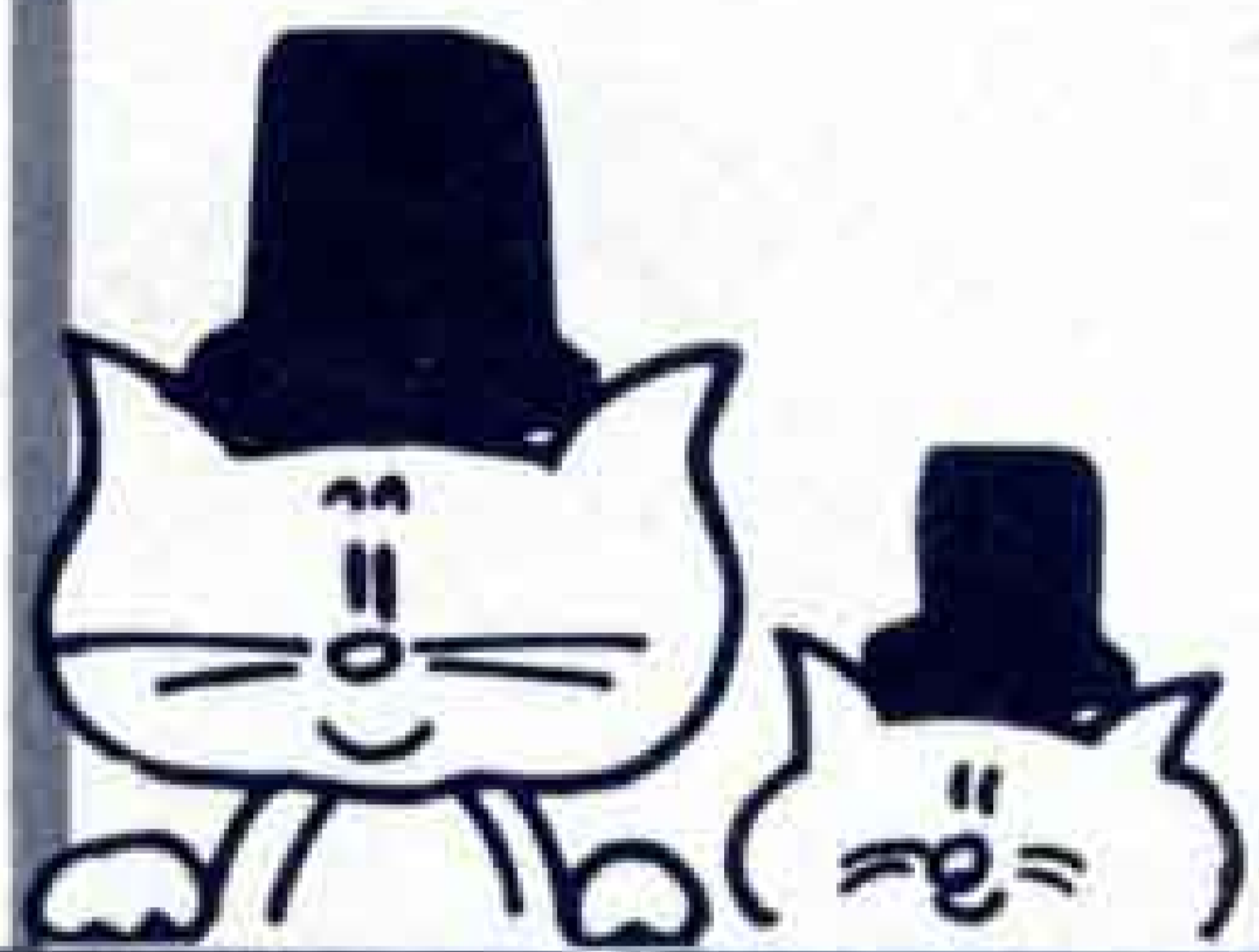
- ① 日当たりと排水のよい平坦地を選び、テントのスペースを決めて整地する。
- ② ポールをつなぎテントをかけて、

- まず、メインロープを打ち込んだペグにしっかりかける。ペグは斜めに打ち込む。
- ③ 屋根にしわが寄らないように、サイドロープをペグにとめる。
- ④ グランドシートの穴にテントの裾を結んででき上がり。
- ▶ テント生活を快適に ① 日中は風通しをよくし、乾燥させる ② 夕方は早目に扉を閉める ③ 整理整頓を心がける。

1、富士山のように たくましく 働くよろこびをもち 健康な家庭をつくります

今月のテーマ

お便り
コーナー



あなたのお便りを
お寄せください

このコーナーは、皆さんの意見交換の場とさせていただきます。テーマに基づいた、あなたの意見や提言などをどしどしお寄せください。

お便りをお待ちしています。

◇応募される人は 原稿用紙へ300字程度にお書きください。趣旨を変えないで原稿を直すことがあります。住所・氏名・年齢・連絡先を忘れずにお書きください。

◇送り先は 〒417 市内永田町1丁目100番地 市役所広報広聴課
原稿締切日は、毎月20日です。

リサイクルを考える

最近、リサイクルという言葉が叫ばれ始めています。物の豊富な現代社会で簡単に物を捨ててしまう習慣がついてしまった私たち。再利用する(リサイクル)ということを忘れかけているようです。今月は、「リサイクルを考える」というテーマでお便りをいただきました。

リサイクルは創造的

鈴木 なみ 江さん
主婦 城山町(34歳)



リサイクルは、合理的、経済的であり省資源につながるのはもちろんですが、創造的なことでもあると

思います。だれかの不用になった物に自分なりの価値を見つけ出すのはとても楽しい発見です。逆に、自分が不用としている物をだれかが再利用してくれるのも、うれしいことです。

学校や地域で行っている古紙回収は地域の緑を守ることに繋がります。

また、着古した肌着がウエス(ぞうきん)となって、日本の機械工業の振興という、思ってもみないところで貢献できるんだ、などと考えると、むやみに捨てずに、「肌着さん、もう一働きお願いしますよ」と、一声かけてリサイクルに送り出したいくなります。

私は1週間に2日ほど、心身障害者小規模授産施設「市民ふれあいバンク」でお手伝いさせていただいていますが、もっと多くの方に知ってもらって、リサイクルの楽しさを発見していただきたいと思います。

テーマ

■8月は「わが家の夏バテ対策」
夏は体力消耗が激しい上に、冷たい物の飲み過ぎから食欲減退を招き体調を狂わせがちです。

また、最近ではエアコンの普及により冷房病に悩む人も多いと聞きます。

みなさんの家庭で行っている、食事・スポーツ・レジャーなどの夏バテ対策をお寄せください。

■9月は「うちのおじいちゃん、おばあちゃん」

激動の時代を生きぬき、今日の平和で豊かな日本を築いたのは、お年寄の力です。ですから、敬老の日だけお年寄を大事にするというのでなく、ふだんから敬いたいものです。

敬老の日にちなみ、あなたのおじいちゃん、おばあちゃん健康な姿、自慢できること、健康法、趣味などを気軽にお寄せください。

まかれたリサイクルの種

佐野幸子さん
主婦 岩本(48歳)



「資源を生かし福祉をはかろう」という発想から研さんを重ね活動している市職員の「リサイクル研究会」が、市民に呼びかけたのが、ミニシンポジウム。ゴミを生き返らせた見事な作品から、物の奥に潜む「いのち」に目を向けさせてくれた清掃工場の職員によるミニ・リサイクル展。実践を持った職員たちの自主的な働

きによって、富士市にリサイクル文化の種がまかれたような気がします。

経済の高度成長に伴い、物欲にとられてしまった私たちに、「資源をみつめ直そう」の呼びかけは、失われつつある心の豊かさへの回復を願う運動なのだと受けとめました。

まかれた小さな種が、やわらかな地で芽を出し、美しい、思いやりのある文化の実をいっばいつけた樹になるよう、みんなで慈しみ、育てたいですね。

大事にする心が大切

小野田実さん
自営 鷹岡本町3(52歳)

鉛筆は小さくなったらサックをはめて使い、消しゴムは穴をあけてひもを通し、下敷きに縛って使っていた自分の子供時代に比べると、今は恵まれていると思います。

とは言うものの一方で、物を大切にしない現代の風潮は、昭和ヒトケタ生まれにとって納得できません。

物は壊れなければ新しい物を購入



しなかったのに、今は修理などせず、どんどん物が捨てられています。「もったいない」とはみんな思うのですが、時代に慣らされてしまっているのか、軽い気持ちで捨ててしまいます。再利用のための修理や保管のコストを考えると、場合によっては新品を買った方が安くつく場合もあるでしょう。しかし、物を大事にする心も大切にしないと、人間の心も荒れてしまうような気がします。

「結局は、金がすべて」という考えにつながっていくように思えてなりません。



中国浙江省嘉興市訪問友好調査団の副団長

もちづきとしお
望月敏男さん
伝法2丁目 (63歳)

去る五月二十一日から二十八日まで、中国浙江省嘉興市を渡辺市長を団長とした総勢十三人の友好調査団が訪問しました。

嘉興市が、中国において富士市同様「紙」の産地であることから、紙業界を代表して参加されたのが望月さん。副団長の要職を務めました。嘉興市は、上海の近くで人口三

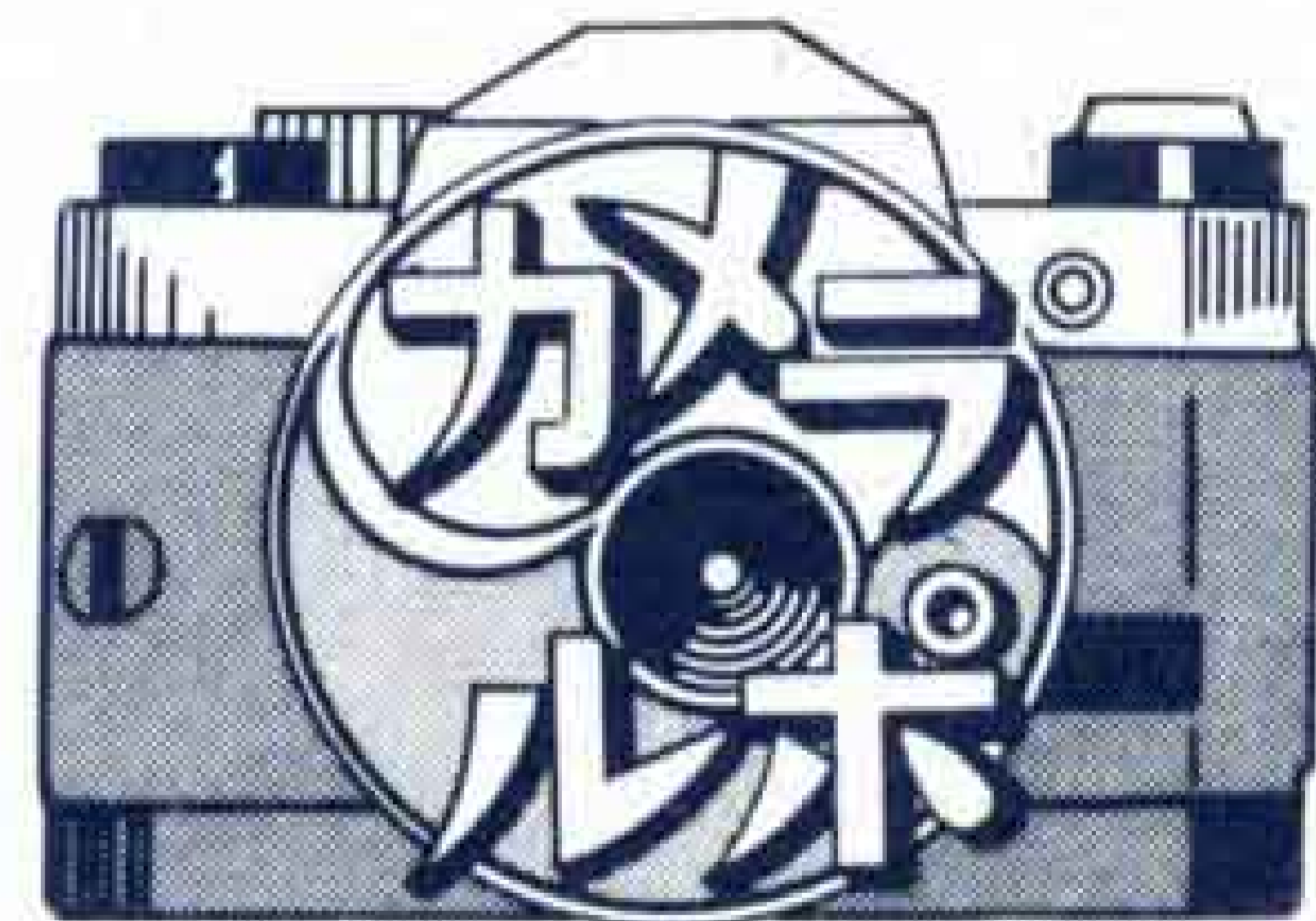
の訪問は、両市の友好関係の糸口を開いたもので一行は、熱烈な歓迎を受けました。「誠実・親切な民情と農村に行っても必ずある緑のトンネル(主としてプラタナスの街路樹)が印象的でした」とは望月さんの感想。友好調査団副団長の職は終わっても望月さんの今後の活躍が期待されます。

百万人(都市部は二十万人)、紙・毛織物・絹織物・弱電製品等軽工業を中心とし、農水産業のバランスもとれた魅力ある都市です。国際友好都市提携を検討している富士市にとって、今回



新たな視点…交流相互理解

青少年の健全育成を 考える集い



富士南地区で6月13日夜、富士南公民館を会場に「青少年の健全育成を考える集い」が開かれました。

地区社会教育推進会と南公民館が主催したもので、「これまでの青少年健全育成運動が、街頭指導や啓蒙活動など一方通行になっているので

は…」という反省の上で、「欠けていたものは何かを考えよう」という目的で開かれたものです。

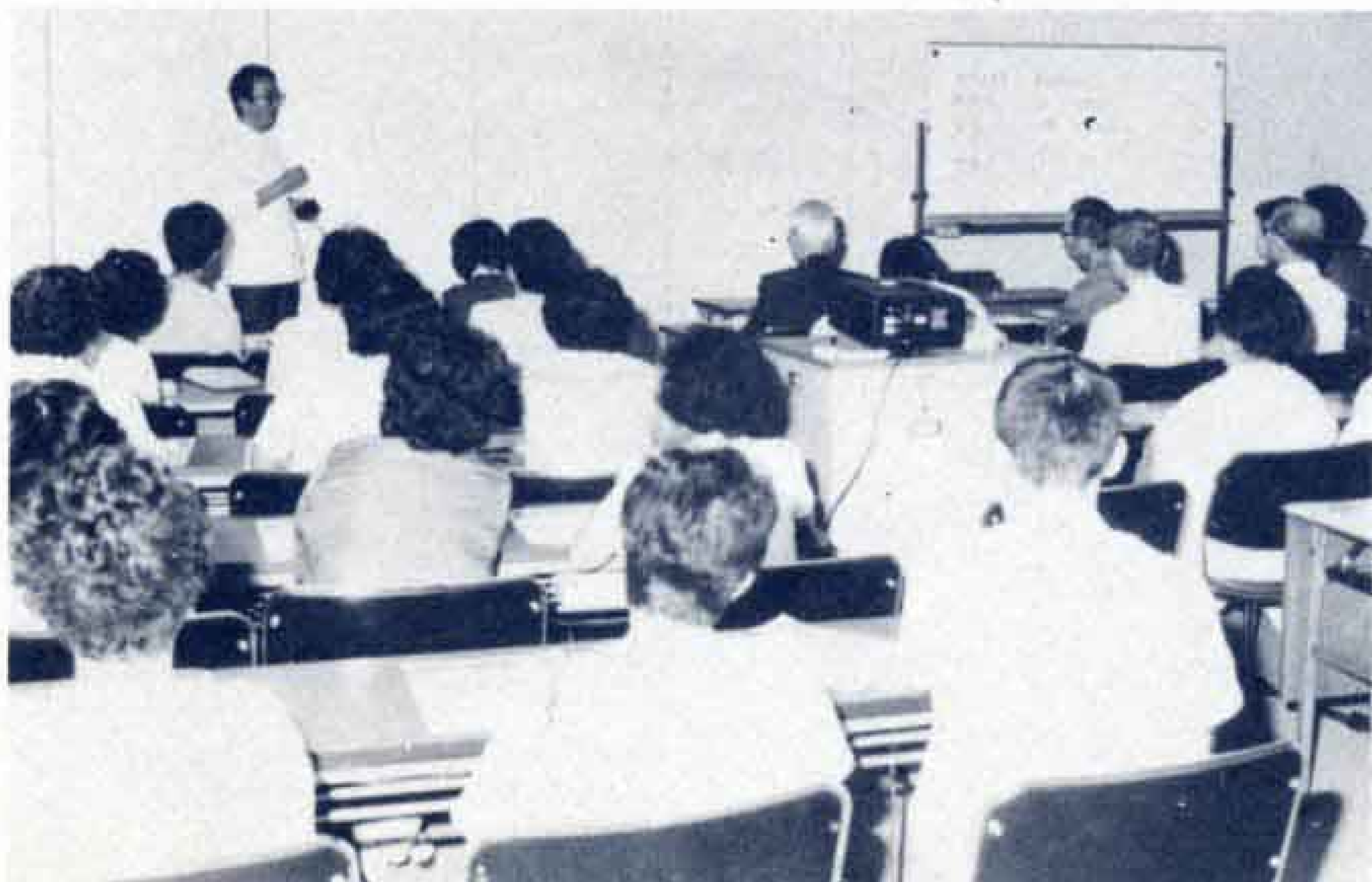
中学、高校、青年、母親の代表による体験発表や意見交換など、150人の参加者は、世代間の交流と相互理解に大きな成果を上げました。

外来糖尿病教室

6月14日(金)に外来糖尿病教室が、中央病院大会議室で開かれました。

この教室は、毎月第2、4金曜日に開かれ、内容として、「糖尿病とは！」糖尿病の治療、食事療法等で、糖尿病の知識を深める教室です。

今回は、糖尿病の合併症について、中央病院第1代謝内科部長 山田治男先生のお話があり糖尿病の患者さんや家族など50余名が熱心に聞きついていました。



△熱心に聞きいる受講生

シンポジウム 2001年の地球経済



▷ パネルディスカッション「岳南経済の理想の21世紀」

6月22日富士市農協会館で、「2001年の地域経済」というテーマのシンポジウムが開かれました。これは市内の若手経営者などで組織する、富士青年会議所が主催したもので、会場のホールには、約500人の人が集まりました。

第1部は、「技術革新と企業経営」というテーマで(株)三菱総合研究所取締役会長の牧野昇氏が基調講演を行いました。

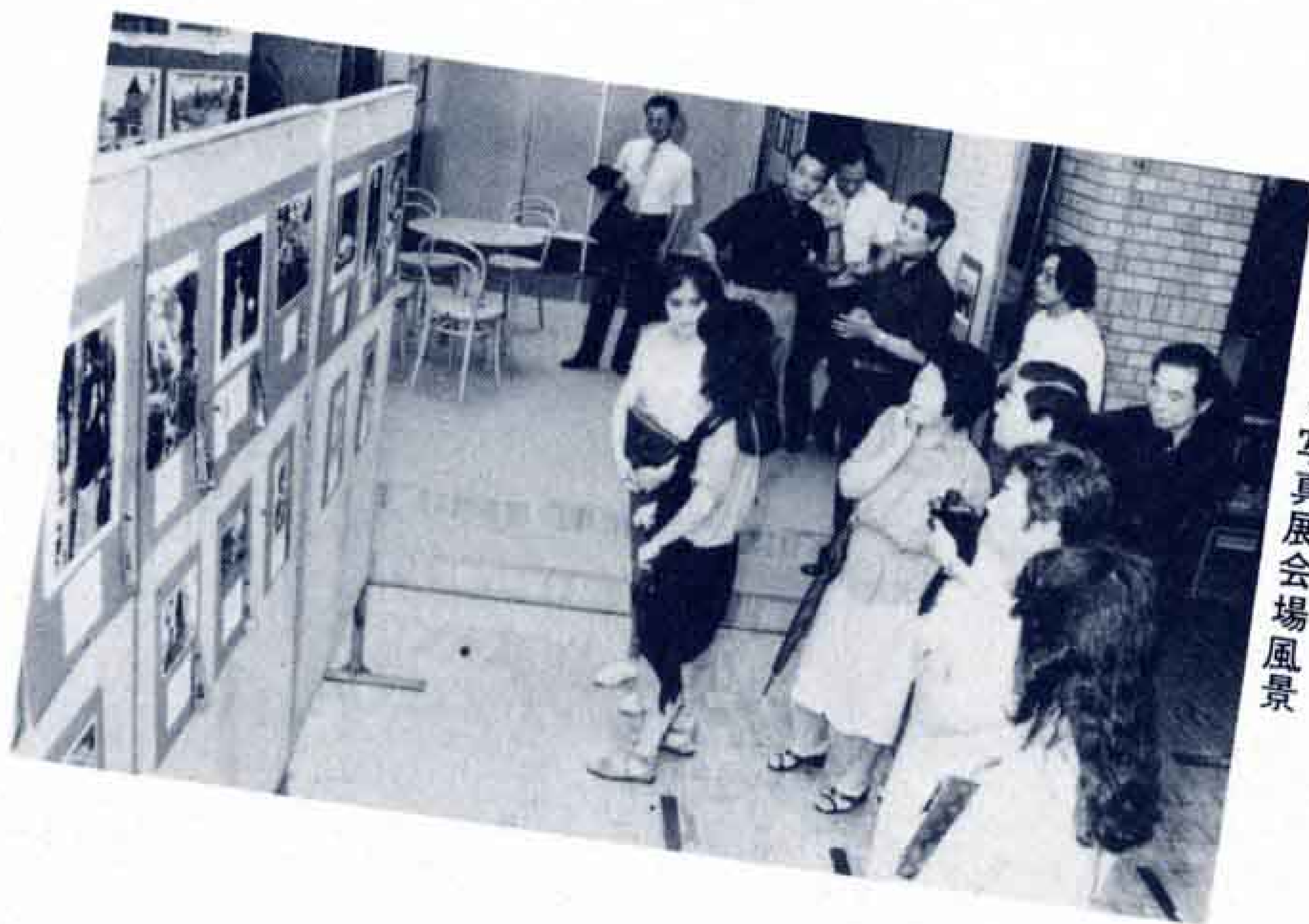
第2部は、渡辺市長ほか4人でパネルディスカッションが行われ、富士市の産業、文化について外から見た期待、斬新な提言が出されました。

ふるさと村 春まつり写真展

ふるさと村春まつり写真展表彰式が、6月23日八百半テパート6階催事場で開かれました。

応募作品277点の中から、入賞作品29点が、展示、表彰されました。

審査評では、「上位のレベルは、なかなかの水準をいっています。特にモデルを扱った作品は、接戦で選ぶのに苦労しました」と言われるぐらい、力作ぞろいで、訪れる人達の目を楽しませていました。



△写真展会場風景

街の話題

ワァーめずらしい

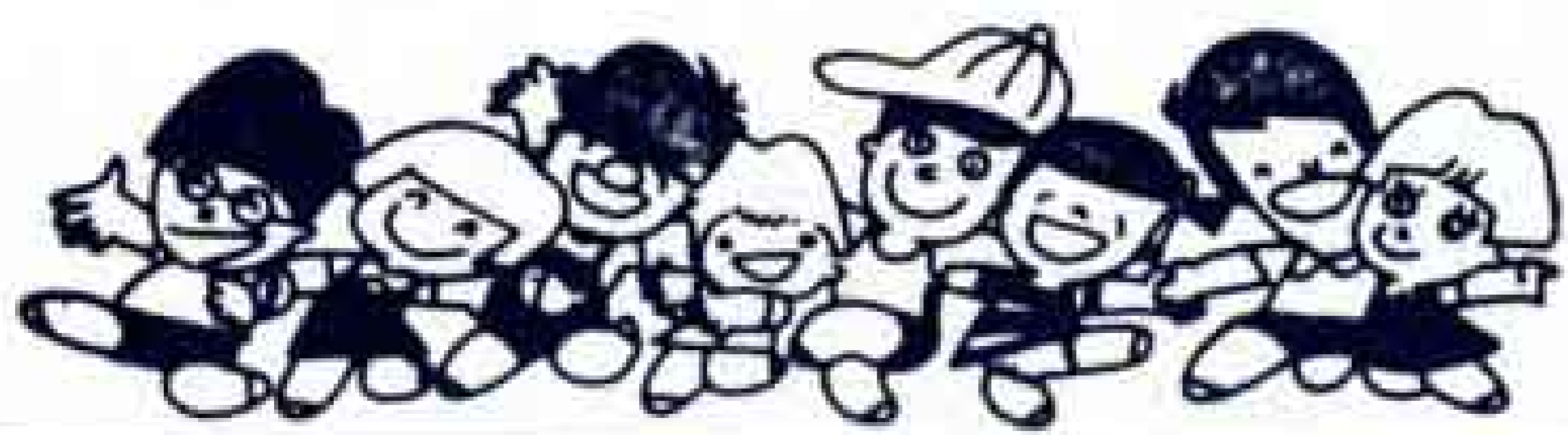
おや！珍しい素焼のトックリ。実は、トックリはトックリでも、スズメバチ科に属するトックリバチの巣。

南町の内田栄一さん宅で発見された代物。しろもの 巣の大きさは、約12センチで、泥を練って作られており、シマ模様の濃淡が実に見事。

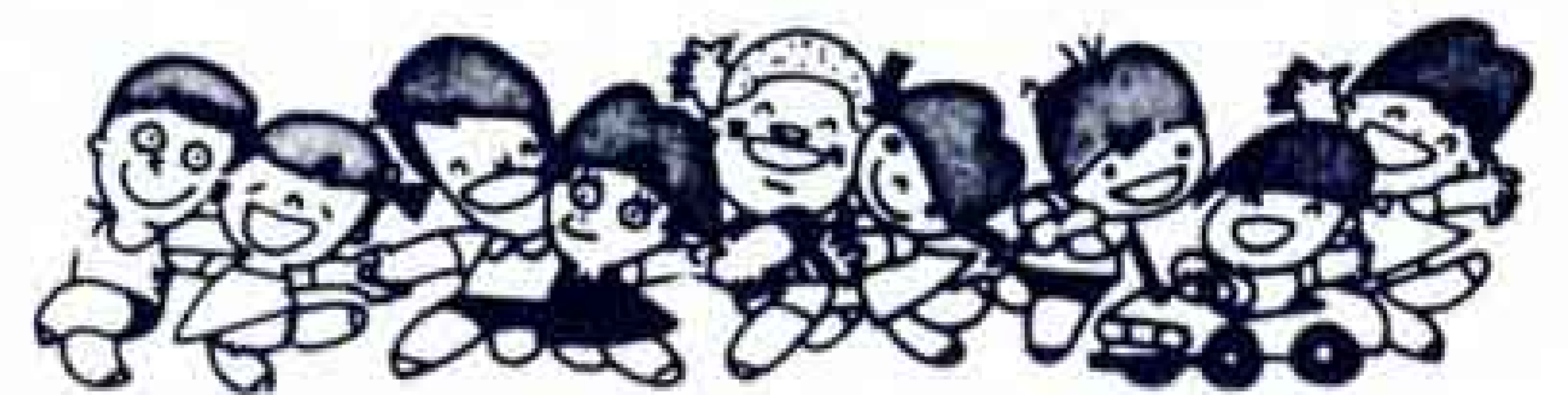
一見古代の土器をも思わせる珍しい形にチョットした街の話題となっています。



△かわったハチの巣（トックリバチの巣）



暮らしのたより



親子市政教室 参加者の募集

- ◇とき 8月7日(水)9:00~16:00
- ◇見学コース 市役所~公設市場~田子の浦港~西部浄化センター~丸火自然公園~総合運動公園~博物館~消防署
- ◇募集人員 100人(親子50組)
- ◇対象者 市内の小学生とその親(原則として親子2人1組)
- ◇申し込み期限 7月31日(水)まで
- ◇申し込み方法、問い合わせ先
ハガキに住所、氏名(親と子供)、学校名、学年、電話番号を記入し、〒417 市内永田町1丁目100番地 市広報広聴課へ申し込んでください。
☎内線529

初心者水泳教室開催

- ◇とき 8月3日(土)、4日(日)、10日(土)、11日(日)の4日間 10:00~12:00
- ◇ところ 大淵中学校
- ◇対象者 婦人、小学生の初心者
- ◇定員 200人
- ◇受講料 1,000円
- ◇申し込み期限 7月25日(木)
- ◇申し込み方法、問い合わせ先
往復ハガキに氏名、年齢、学校名、保護者名、連絡先、電話番号を記入し、市内中島534の3水泳協会事務局加藤裕久宛に申し込んでください。 ☎61-3179

家庭奉仕員を 派遣します

市は、老衰や心身の障害、病気などの人のお宅へ家庭奉仕員を派遣します。家庭奉仕員は、日常生活に不

自由しているひとり暮らしのお年寄りや重度の心身障害児(者)のいる家庭で、家族の介護を十分に受けられない人のお世話をします。

また、定期的な派遣は必要としなくても家庭の事情により、臨時的に必要な場合でも派遣することができます。なお、派遣する場合には、その家庭の生計中心者の所得税の額に応じ、一定の手数料を納めていただきます。詳しくは市福祉課へ内線233

市民文化財めぐり 参加者の募集

- ◇とき 8月2日(金) 8:30~16:00
- ◇見学コース 市役所~雁堤~実相寺~瑞林寺~曾我寺~博物館~永明寺~竹取塚~浅間古墳~阿字神社~ディアナ号の錨~市役所
- ◇対象者 市内在住、在勤の人
- ◇募集人員 100人(申し込み順)
- ◇参加料 大人1,000円、小人500円
- ◇募集期間 7月23日(火)~25日(木)
- ◇申し込み、問い合わせ先
教育委員会文化体育課へ直接参加料を添えて申し込みください。
☎内線610

ふれあい教養セミナー

- ◇とき 7月27日(土) 14:00~
- ◇ところ 静岡商工会議所会館
- ◇テーマ「気象はいま最もファッションブルだ」
- ◇講師 倉嶋厚氏、山村美智子氏の対談
- ◇定員 350人
- ◇申し込み方法 電話かハガキで、清水市三保2389東海大学社会教育センター「ふれあい教養セミナー事務局」へ ☎0543-34-2385

ふるさと村春まつり 写真展入賞者の発表

- ◇審査結果 第1部(四ッ切り)
 - ・推せん、志田政敏(今泉)・特選、望月 仁(松岡)、山田英雄(清水市)
 - ・特別賞 本山 勝(富士宮市)、関明(松岡)、新妻 昇(宇東川本町)、四條昌紀(横割4丁目)、吉田勝子(大淵)、杉本克雄(鈴川)、笠井光伯(今泉)、武田勝利(今泉)
 - ・入選 北村茂樹(宮島)、保竹章年(依田橋)、和泉興七(比奈)、四條昌紀(横割4丁目)、杉山知司(今泉)、中川泰徳(神戸)、鈴木武子(吉原1丁目)、武田保寿郎(新橋)、増田恵美子(比奈)、戸塚和一(松岡)
- ◇第2部(キャビネ判) 初心者対象
 - ・1席 望月好太郎(五貫島)、・2席、鈴木房子(今泉)、・3席、中川敏子(神戸)・入選、広川 守(富士宮市)、伊賀康夫(水戸島)、遠藤義男(厚原)、中村幸弘(宮島)、滝浪久史(富士宮市)

雇用促進融資の ご案内

- 人材の確保や従業員の定着を図るため、社宅や福利厚生施設を設置するとき、また、高齢者が働きやすくなるよう工場や設備を改善するときに活用できる資金です。
- ◇対象者 事業主、事業主団体
 - ◇貸付条件 利率、中小企業年7.1% 大企業年7.6%、返済期間5年~30年以内、返済方法、3ヵ年ごとの元金均等割賦、保証人、1人
 - ◇申し込み、問い合わせ先
雇用促進融資業務取扱金融機関
雇用促進事業団本部 ☎03-265-0351
名古屋支部 ☎052-221-8751

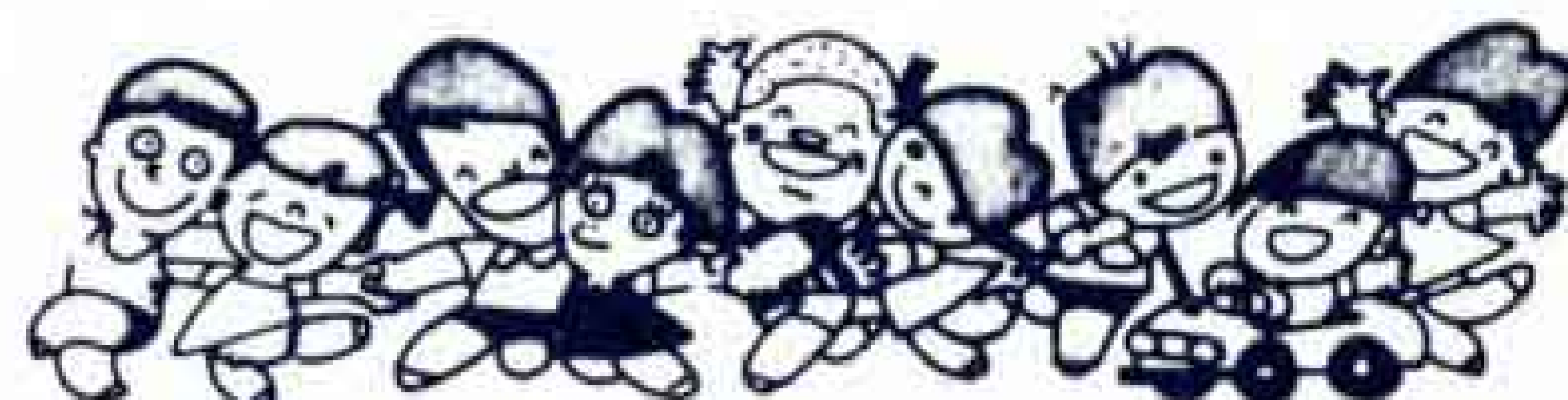
夏の交通安全運動

7月15日~25日

- 重点目標 1、夏休み中の子供の交通事故防止
1、暴走運転の追放
1、家庭での交通安全対話の励行



暮らしのたより



身体障害者職業訓練校に体験入校を

心身障害者は、学歴、職歴、障害の状況により能力差があり、外見だけでは訓練適性が判断できません。

そのため選考の方法として、随時「体験入校」によって適応性をチェックしています。

◇対象者 集中力、やる気、忍耐力のある身体障害者及び精神薄弱者で原則として35歳までの人

◇体験入校 1週間以内（最終日に入校の適否の内示をする）

◇問い合わせ先 県立身体障害者職業訓練校 ☎0559-24-4380

緑の羽根募金 協力のお礼

今年度も緑の羽根募金に皆様のご協力をいただきありがとうございました。おかげで目標額を上回る総額186万502円の募金をいただきました。その還元金130万2,000円により6月11日、中央公園へ潜在自然植生に基づく環境保全林の創造をテーマにクスノキほか15種のポット苗2,500本を植栽しました。

河川愛護運動

「川をきれいにする 川をよごさない」をスローガンに8月31日まで河川愛護運動が行われています。

みんなで川をきれいにするこの運動に参加しましょう。

サマーミニコンサート

◇とき 7月20日(土) 19:00～

◇ところ 吉原公民館

◇入場料 300円

◇問い合わせ先 吉原公民館 ☎53-1580 または サロンコンサート実行委員会 ☎52-5513

レントゲン間接撮影

実施月日	実施会場	実施時間	該当地区
7月19日(金)	法蔵寺	10:00～11:30	三ッ倉町
	片倉作業所	13:00～15:00	片倉町
22日(月)	城山町公会堂	10:00～11:30	城山町
	八王子1丁目公会堂	13:00～13:45	八王子町1
	秋山栄住宅(落合東公民館入口)	14:00～15:00	落合町
23日(火)	勝又高宅	10:00～11:30	穴原町1
	竹川俊治宅	13:00～13:50	境町、大峰町
	渡辺芳弘宅	14:00～15:00	穴原町2
24日(水)	大富町公会堂	10:00～10:45	大富町
	次郎長作業所	11:00～12:00	次郎長町
	八王子2丁目公会堂	13:30～15:00	八王子町2
25日(木)	くすの木学園	10:00～10:30	希望ヶ丘
	八王子本町作業所	11:00～12:00	八王子本町
	大淵第二小学校	13:30～15:00	富士本中、富士本西

いっせい防疫

月日	午前	午後
7月15日(月)	鈴川町2 鈴川町1	鈴川町3 鈴川町4 鈴川町5
16日(火)	鈴川浜町中通り 鈴川浜町東通り 鈴川浜町西通り	今井本町 今井毘沙門町
17日(水)	今井東町 西田中町	大野町
18日(木)	桧町 田中町 柏原町3	柏原町2 柏原町1
19日(金)	浮島町3	浮島町2 浮島町1
22日(月)	江尾町2 江尾町1	増川町3 増川町2 増川町1
23日(火)	神谷町3 神谷町2 神谷町1	川尻町1 川尻町2
24日(水)	中里新富町 中里八幡町 神谷緑町	中里町4 中里町3 中里寿町
25日(木)	中里町1 中里町2 中里曙町	富士岡渋脇町 富士岡花守町
26日(金)	富士岡本花守 富士岡町1 富士岡町3	富士岡町2 富士岡入町

7月の休日当直医

休日及び平日夜間の当直医は、急病患者のために定めたものです。

急病のときだけご利用ください。

◇7月7日(日)

外科 松本整形 71-2570 久沢
" 吉田外科 51-2515 石坂
産婦人科 望月産婦人科 34-0445 西比奈
柔道整復 渡辺接骨院 61-0548 平垣

◇7月14日(日)

外科 川村病院 61-4050 中島
" 芦川病院 52-2480 中央2
産婦人科 谷産婦人科 61-0039 八幡町
柔道整復 佐野接骨院 52-0774 吉原

◇7月21日(日)

外科 山崎医院 71-3315 厚原
" 渡辺病院 51-3751 錦町
産婦人科 榎山産婦人科 71-4771 厚原
柔道整復 望月接骨院 61-2090 平垣

◇7月28日(日)

外科 竹沢医院 63-7373 宮島
" 石川整形 52-1985 浅間本

産婦人科 武田産婦人科 63-5122 宮島
柔道整復 岩山接骨院 33-1751 鈴川

※内科・小児科は、医療センター☎52-3104で、歯科は歯科医師会館☎53-5555で行います。

平日夜間及び休日当直医の問い合わせは
☎52-1181

ふるさとの昔話

富士岡の いちよう地蔵



清水君のかいた大いちよう



富士岡の地蔵堂の後ろに、乳房が垂れたような大いちようがあるので、ここのお地蔵さんのことを「いちよう地蔵」と呼んでいます。いちようの木は、樹齢600年以上だといわれ、静岡県の天然記念物に指定されています。7月23日は、お地蔵さんの縁日です。

子育ての地蔵さん

昔、赤淵川に山津波があつて、一軒の民家が矢のように流されてきました。ところが、不思議なことにこの大いちようのところまで来ると、枝にからまってピタリととまりました。流れて来た家の屋根の上には、乳飲み児を抱えた母親がしがみついていた。近所の人々がかけつけて助け出しましたが、母親は驚いたために乳房からは一滴の乳も出なくなっていました。子供は火のついたように泣き、母親はただ途方にくれるだけでした。

その時、いちようの木の乳房に気がついた母親は、言い伝えが本当であつてくれるようにと祈りながら、いちようの木の乳房に針を刺してみ

ました。すると、その晩から流れるように乳が出るようになりました。

やがて、成人したその時の子供は子育ていちようのご神体として、石のお地蔵さんをいちようの木の根元にまつりました。

大勢知ってるよ



清水千秋君

吉永第一小学校4年生の清水千秋君は、いちよう地蔵の大いちようを見事にかきました。清水君は「お地蔵

さんの話は、お母さんから聞きました。友達も大勢知っています。葉が多いのでかくのに苦労しました。」と語ってくれました。

地名の由来

花 守



花守というのは、旧吉永村の富士岡地区の小学で、普通には花守村と言ってきました。赤淵川につくった砂州の上に、慶長のころ開拓の鍬が入れられたものです。

昔、この村の山神社の境内に遠くからでも鮮やかに見える美しい花の咲く木がありました。人々はそれを花森と呼びました。それがいつのまにか花守に転化して地名となったのでしょうか。

富士の あけぼみ ②

富士のあけぼの

一万年前に人の住んでいた峯山遺跡



富士市にいつから人が住み始めたのでしょうか。今から約1万年前の無土器文化時代には、すでに人が住んでいた形跡があります。

間門と鶴無ヶ淵の中間に峯山という台地があります。ここからは明らかに人手が加えられた黒曜石の小片が見つかっています。

縄文時代（約9,000年～2,200年前）になると、人は弓矢で狩を行い土器をつくり、中には作物を作り始めた者もあったといわれます。天間沢遺跡からはこの時代の住居跡が発見されています。

こうして人は集団生活を始め、弥生時代（約2,200年～1,700年前）には、稲作が定着しました。

今泉に広がっていた沖田遺跡からは、多くの木製品・土器片が発掘されました。そして時代は古墳文化時代に続きます。（文は郷土史家鈴木富男氏の著書を参考にしています）

※古墳文化時代は前シリーズをごらんください。

こちら編集室

雨も降らないと困りますが、毎日続くとさすがにうんざり。家の中は洗濯物の山で「何とかしろ」と余計なけんか。本号がお手元に届くころには梅雨が明けるといいのですが…